レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月12日	使用開始日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	岡田一幸	化学療法委員会承認年月	平成 30 年 12 月
レジメン名	トラスツズマブ【初回】＋FP（ホスアプレピタント）				
疾患名	胃がん	適応の備考	対象：HER2陽性胃がんのみ		
適応分類	進行再発				
1コース日数	21 日間	総コース数	コース	催吐性リスク	高度
抗がん剤投与量・投与日	トラスツズマブ8mg/kg day1、シスプラチン80mg/㎡ day1、5-FU 800mg/㎡ day1-5(24時間精密持続静注)				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 （ 投 与 日 は ● ） （day）

投与順	ルート・方法	薬 剤 名	投 与 量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート		/																						
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 /	2 時間	●																				
			/																						
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	90 分	●																				
	点滴静注	トラスツズマブ	8 mg / kg		●																				
		注射用水100mL	1 本 / body		●																				
	投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																								
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●																				
	抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴		/																						
4	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
		ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																				
			/																						
5	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / ㎡		●																				
			/																						
	シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																								
6	主ルート		/																						
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●	●																		
			/																						
			/																						
7	側管②	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	精密持続点滴	5－FU	400 mg / ㎡	12 時間	●	●	●	●	●																
			/																						
			/																						
8	側管②	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	精密持続点滴	5－FU	400 mg / ㎡	12 時間	●	●	●	●	●																
			/																						
			/																						
9	側管②	生食50mL	1 本 / body	5 分						●															
	点滴静注																								
			/																						
	5-FUフラッシュ用		/																						
10	側管①	生食100mL	1 本 / body			●																			
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分		●																			
			/																						
			/																						
11	側管①	生食100mL	1 本 / body				●	●																	
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分			●	●																	
			/																						
			/																						

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

トラスツズマブ初回投与患者には、このレジメンを使用する

トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg　day1

トラスツズマブの投与時間は、初回投与90分、2回目以降は30分可

トラスツズマブ：次回以降予定投与が遅れた場合、予定投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。

シスプラチン：希釈は生食のみ。

シスプラチン：腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。